

寺尾第二地区民生委員児童委員協議会 令和6年1月～3月までの取り組み



地区社協の牽引役として、事業や行事の企画・運営に携わっています

地域福祉の増進に努めるものとして・・・

この期間に開催された
三つの行事を紹介します！

福祉保健講座第三講 今から始める食習慣 一食で育む親子の絆



後半は、パネルシアターでした。

歌も交えて野菜を身近に感じることができました。子どもも大人も楽しく学びました。



その後、民生委員児童委員が調理した軽食を摂りました。

みんなで楽しく食べて
元気になろう！



講座の間は
キッズスペースで
民生委員が見守
りをしています

- 〈食育5つの力〉
- ① 食べ物の味がわかる力
 - ② 食べ物の命を感じる力
 - ③ 食べ物を選ぶ力
 - ④ 料理ができる力
 - ⑤ 元気な体がわかる力

障がいの理解講座 ～そらくんとたからくん2[卒業編]～

2月9日、障がいの理解講座が48名の参加の中、開催されました。障がいのあるご兄弟の卒業に向けての日々を描いた記録映像「そらくんとたからくん2[卒業編]」が上映されたあと、映像の制作委員会「にじメディア」の代表齋藤一男氏とそらくん、たからくんのお母様、浅川素子さんによるトークセッションが行われました。

浅川さんは、インクルーシブ教育(障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが学べる仕組み)の必要性を語られました。

私たちはこの町で共に生きる未来に向けて多様性を認め合う共生社会を築いていくことの大切さを学びました。



障がいのある方やそのご家族が、心ない視線や発言を見聞きされ、心を痛められることが未だにあるというお話には、民生委員児童委員として、まだまだ理解が進んでいないことを実感しました。一人でも多くの地域の方々の正しい知識と理解が進むよう努めていかなければ、と再認識しました。

第2回 せせらぎ祭り

6年ぶり

開催

以前は“福祉バザー”という名称で、地域から頂いた提供品のバザーをしていましたが、2018年“せせらぎ祭り”と名称を変え、第1回目が開催されました。その直後コロナ禍で中止や延期が繰り返されていましたが、令和6年3月24日(日)6年ぶりに第2回目を開催することができました。

民生委員を中心に手作りしたものを販売するようになって10年。今回も昨年の暮れから手作り品の準備を始めました。

近頃は、地域の方からも手作りの品が多く届くようになりました。



民生委員全員で取り組んだ手作り品
絶賛仕上げ作業中



手作り品も提供品も多くの方に買っていただきました。



2つの部屋に分かれた
喫茶コーナーも
大盛況でした。

ステージ発表は立見席まで満員でした
民生委員の誘導に従って、スムーズに進行することができました。

すべてのコーナーの装飾からレイアウトまで、民生委員が中心となって進めました。
当日は、婦人部、保健活動推進員、また、地域のボランティアさんの協力を得て、多くの皆様に参加していただきました。

展示コーナーには、春の香りが漂いました。



馬場地域ケアプラザを中心に活動されているグループの作品展示やステージ発表も行われ、賑わいのある一日になりました。



お花も野菜の代わりに“甘栗”もあっという間に完売でした。

